

浜松市の早期支援の取り組み①

～かもしれない子～

Aさんの場合



赤ちゃんのころから人に抱かれることが嫌で、私が抱っこしている間中大泣きしてました。

赤ちゃんに嫌われているのかと思うと、とても憂うつでした。

Bさんの場合

歩き出したと思ったら、ひとりでどこへでも行ってしまおう子でした。呼び止めても言うことを聞かないので、犬用のリードをつけて散歩や買い物をしていました。



Cさんの場合

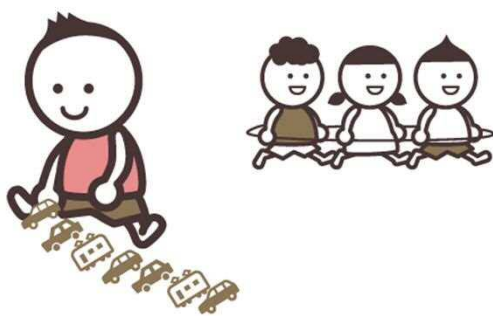
2歳になるのに言葉が出てきません。こちらの言うことはわかっているようなのですが、自分からは「あー、うー」です。周りからは3歳まで待つといいと言われますが心配です。



Dさんの場合



偏食が強くて困っています。
ごはんのような白いものしか
口にしないで、少しでも色が
ついているようなものは食べ
ようとしないので、栄養の偏
りが心配です。



ASD（自閉症スペクトラム）の主な特性

- 言葉のコミュニケーションが苦手
言葉の裏にある意味をくみとるのが難しいなど
- 人と関わるのが苦手（対人関係や社会性の障害）
目を合わせない、空気を読むのが苦手など
- こだわりや興味に偏りがある
予定が変わるとパニックになってしまう、同じ動きを返すなど

0才児から1才児で
AさんからDさんの
子どものようなあ
らわれは全部ASD
疑いです

母親の悩み



- ・ 睡眠時間が短い
- ・ 泣き止まない
- ・ こだわりが強く怒ったり泣いたり感情が激しい
- ・ 落ち着きがない
- ・ 偏食
- ・ 人見知りがなくどこにでも行ってしまおう

...etc

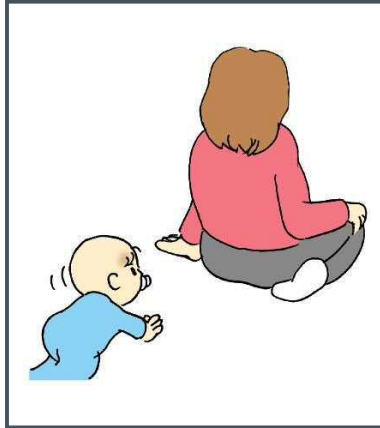
母親の孤立



- ・ 母親の家族との縁
- ・ 夫婦関係
- ・ 地域との縁
- ・ 支援者や制度との縁
- ・ 知的障害
- ・ 産後うつ等の精神障害

...etc

育てにくさを
ベースとした
不適切養育
(愛着問題)



応答なし

一方的なかかわり



そうなる前に、相談すればいいのに・・・

かみ合わなさの例 –アドバイスの受けとめ–

医師・心理士	専門家の想定	保護者
1年程度の発達のおくれがあります	深刻な知的障害	1年おくれならそのうち追いつくだろう
ちょっと落ち着きがありませんが、様子を見ましょう	ASD/ADHD/産後うつ/虐待の疑い	ダイジョウブと言われた
保健師さんに相談しましょう	母子保健事業による支え	障害児と言われた
困ったらまた来てください	後々は心配がある	もう来なくていいと言われた

保護者はいつも最善を選択するとは限らない



- A** : 子どもの状況を分かっており、支援に積極的
- B** : 状況を分かっているが、支援は否定・消極的
- C** : 状況を分かっているが、支援は肯定
- D** : 状況を分かっておらず、支援を拒否



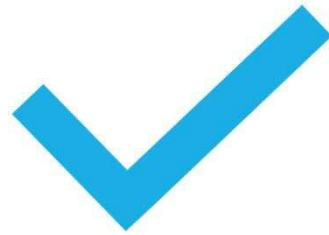
Q1. 発達障害の早期総合支援とは何ですか？

目的

生まれてから年をとるまで、それぞれのライフステージで変化するニーズに応じて支援を継続するため

早期発見 ニーズの発見で支援のスタート地点

早期支援 早期発見に続いて地域で提供される子供と家族のためのニーズに応じた子育てシステム



Q2. なぜ乳幼児健診で早期支援に取り組むのですか？

- ①ことばや発達の遅れの目立たない子供の見逃しの現状
- ②不適応が慢性化すると複雑化・深刻化する子供の心と行動の問題
- ③乳幼児健診の機能と役割の拡張
- ④成長していく子供の発達を見守る、家庭と地域の連携づくり

Q3.

お子さんやご家族にとって、早期に発達評価や支援を受けることはどんな意味があるのですか？

コミュニケーションの発達を促進します

家族のメンタルヘルスが向上します

子供が必要とするニーズが気づかれやすくなり、子供が安心して暮らせます

健全な自己理解の育ちに役立ちます